

熊本地震について

米国医療機器・IVD 工業会 (AMDD) は、4 月 14 日以降、九州地方で発生している一連の地震により犠牲となった方々にお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。いまだ続く余震の中で、困難な避難生活や、また安否のつかめないご家族、ご友人のことで不安な日々を送られている多くの方々に心を痛めております。

私ども AMDD の多くの会員企業は、寸断された交通網や停電などで制約を受けているものの、今回の被害を受けられた地域の病院や診療所に患者さんが必要とする製品を安定供給するなど、会員企業一丸となって復興に向けて最大限の努力と支援をしております。

今回の震災の被害に遭われた皆様が、一日も早く以前の状態に戻り、健康な生活を送れるよう願って止みません。当工業会も及ばずながら行政当局と連携しながら、復旧・復興に力を尽くしてまいります。

2016 年 4 月

一般社団法人 米国医療機器・IVD 工業会
会長 加藤幸輔

(以下 7 月 12 日更新)

● 寄付について

熊本地震におきまして、一般社団法人米国医療機器・IVD工業会 (AMDD) は、日本赤十字社を通じ合計300万円を寄付いたしましたので、お知らせいたします。

また、会員企業からの寄付を含めると、合計3,320万円を寄付いたしました(2016年5月末日現在)。

その他、会員企業内には個人での寄付や、寄付金のマッチングを個別に行っている企業もあるため、総額はこれをかなり上回ると予想されます。

● 支援活動について

会員企業各社より、医療機関・学会・被災自治体を通じ、下記等の支援活動に取り組んでおります。

- 各種医療機器、体外診断薬の提供・貸出
- 非常食、水、乾電池、ウェットタオルの提供
- 九州地区の営業担当を中心としたボランティア(計画中)

AMDDでは、今後も被災地の復旧・復興に貢献すべく、継続してさまざまな活動に取り組んでまいります。